

檜葉町駐在現地確認概要(平成30年2月26日～3月2日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
2月26日	G6タンクエリアにおけるフランジタンク解体工事の進捗状況の確認	G6タンクエリア	○G6タンクエリアにおいては、平成29年11月20日にフランジタンクの解体工事が着手されていることから、工事の進捗状況を確認した。 G6タンクエリアは、G6南タンクエリアとG6北タンクエリアの2つのエリアからなり、G6南タンクエリアでは、解体対象のフランジタンク18基のうち15基の解体が終了していた。G6北タンクエリアでは、解体が終了したフランジタンクはなく、作業員によると、2月26日から1基目の解体に着手したとのことであった。 現場で目視した限り、トラブルが発生している様子はなく、また、現場に掲出されていたダストの測定結果は、検出下限値未満であることから、ダスト飛散防止対策についても問題ないことを確認した。	11時24分現在
2月27日	配管取り外し作業における漏えい対策の実施状況の確認	—	○耐圧ホースを取り扱う際の漏えい防止対策については、平成27年5月に1,000tノッチタンクから3号機タービン建屋への移送ホースからの漏えい事象を受け、同年8月に「耐圧ホース運用管理ガイド」を策定し、漏えい防止対策を実施してきた。 その後、想定外の事象が発生する度に、その教訓を踏まえて改訂していることから、その対応状況について聴取し、運用管理ガイドへの反映が徹底されていることを確認した。	10時45分現在
2月27日	H5、H5北、H6、H6北タンクエリアの配管取り外し作業における漏えい防止対策の確認	H1タンクエリア西側、H5、H5北、H6、H6北タンクエリア	○H5、H5北、H6、H6北タンクエリアでのタンクリプレースに伴い、RO濃縮水移送配管のリルートが行われていたことから、配管取り外し作業における漏えい防止対策について確認した。 取り外された配管は、H1タンクエリア西側に仮置きされており、連結ホース及び連結弁は、末端に閉止栓が付けられ、ポリ袋で養生され、袋の端はテープで固定されていた。作業員によると、今後、鋼製のコンテナに入れ、搬出するとのことであった。 東京電力が策定した「耐圧ホース運用管理ガイド」に基づき、耐圧ホース取り外し時の漏えい防止対策が確実に実施されていることを確認した。	10時45分現在
2月28日	K排水路補修作業に起因する建屋滞留水流入量増加事象の対策の確認	1号機北西側K排水路暗渠内	○平成30年2月に1/2号機建屋への地下水・雨水の流入量が増加した事象について、対策の実施状況を現場確認した。 東京電力によると、K排水路内の補修作業を行った際、作業の支障にならないように上流側からの水の流入防止として土のうを積んだ結果、集水拵内の水位が上昇し、1/2号機建屋側に向かう枝管に流れて流入量が増加したと思われるとのことであった。 対策として、集水拵内にポンプを設置しており、確認時は建屋内へ流入するおそれがない水位まで排水されていることを確認した。	14時40分現在
3月1日	5・6号機北側伐採・造成工事エリアの状況確認	5・6号機北側伐採・造成工事エリア	○5・6号機北側では、新たに増設雑固体廃棄物貯蔵庫、減容処理設備及び大型廃棄物保管庫の設置が計画されており、現在、伐採及び造成工事が行われていることから、現況確認をした。 確認時は、エリア内ではバックホウ1台のみが稼働していたが、目視で確認した限り、整地されており、ほぼ伐採・造成工事は完了しているものと思われた。	13時00分現在
3月1日	増設雑固体廃棄物焼却設備建屋建設工事の進捗状況の確認		○増設雑固体廃棄物焼却設備建屋の建設工事の進捗状況を確認した。 確認時は約40名の作業員がおり、重機を使って基礎廻りに盛土をしたり、鉄筋を配置したりする作業を行っていた。	13時00分現在
3月2日	サブドレン増設サンプルタンク(J)試験排水の状況確認	免震重要棟中央操作室サブドレンサンプルタンク、移送設備、バルブユニット、物揚場サブドレン排水口	○増設したサブドレンサンプルタンクからの試験排水が順次行われていることから、3月2日に行われたサブドレンサンプルタンク(J)からの試験排水に立ち会った。 排水開始前のバルブや排水ポンプの確認、排水開始時の排水ポンプの操作等に立ち会い、トラブルなく、試験排水が行われたことを確認した。	11時06分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。